

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社 影向舎
公演団体名	「笑てっ亭」上方落語と英語落語

内容



ワークショップ

【公演時間】40～60分
※児童・生徒さんの発表組数などで調整します。

プログラム

事前学習からワークショップ当日の
英語落語コンテストを経て、
落語ってどんなものなのか、
英語落語ってどんなものなのかを
理解していただけるプログラムとなっております。

👍 = 意図（知っていただきたい内容）と工夫

まずは落語を一席お楽しみください

1 落語 桂かい枝 『道具屋』など

プログラムの最初にまずは代表的な
古典落語を一席お楽しみいただき、
落語ってどんな芸能なのかを
お伝えします。



👍 落語はオチがつく（なので「落とし噺」→「落語」）こと、そして多くの
落語に掛け言葉が用いられていることを知っていただきます。

2

英語で落語（小噺）を演じてみよう

英語落語コンテスト



公演日までに練習をしてもらった「小噺」を、
各クラス、2人1組ずつの代表ペアに
英語で発表していただきます。
どのクラスのペアが一番上手に演じることができるか。
審査員は桂かい枝、桂福龍。
そして『特別審査員』は学校の英語の先生。

👍 人前でお話することで自信をつけていただき、そして表現力の向上を図ります。コンテストを通し落語のイロハ、そして英語を学びます。

発表の形式（2人1組で小噺を発表）

各クラスの代表ペアが二人一組でAとBのキャラクターに分かれて発表
【日常会話（お芝居）として演じてください】



桂かい枝が“落語”で小噺を実演 ← 演技指導の為

発表の際のポイント

- 1.感情を豊かに表現（うれしい、かなしい、驚き、かゆい、痛い など）
- 2.大きくボディランゲージなどの仕草を使い、よりリアルに表現

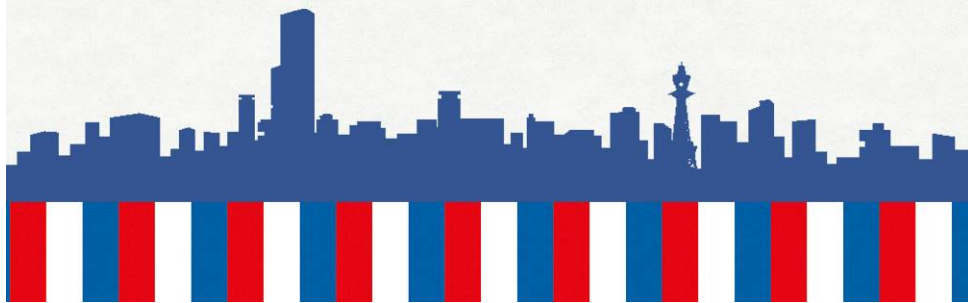


全クラスの発表を行い、その中からグランプリを決定！！
【審査員】桂かい枝／桂福龍／学校の英語の先生（特別審査員）

【落語＝日常会話】

落語は登場人物間の会話を中心に進行していきます。何気ない2人の会話から落語の様々なストーリーが生まれてくるのです。落語の基礎である小噺も同じです。AとBの2人のキャラクターの短い会話で生まれる笑いのショートストーリーを演じて、落語を体験してみましょう。

代表ペアを決める
事前学習の段取り



事前学習（代表ペアを決めていただく段取り）

ワークショップ当日までに授業などで小噺（日本語と英語）の練習（レッスン）を行ってください。

小噺は例題の内からお選びいただけます。例題を参考にオリジナルの小噺を創作していただくのも良いでしょう。

2人1組でAとBのキャラクターに分かれ、会話をするように小噺を演じます。その際、あまり落語っぽさを意識しないで、日常会話（お芝居）のように演じてみてください。ワークショップで桂かい枝が演技指導をして、落語に仕上げます。最終的に当日出演をするクラス代表のペアをお決めください。

小噺の例題の一部

簡単レベル

レベル1

小学校・低学年

□ Where is ? (どこにある)

A : Where is my bag? (カバン、どこにある)

B : It's on the chair. (椅子の上だよ)

A : Where is my pen? (ペンは?)

B : It's on the table. (机の上だよ)

A : Where is my hat? (帽子は?)

B : It's on your head. (被ってるよ)

中級レベル

レベル2

小学校・中～高学年

□ Surgery(手術) ☆《Patient》(患者) / 《Doctor》(医者)

A 《Patient》 : Doctor, this is my first surgery. So, I'm afraid. I don't know what to do.
(先生、私、初めての手術なので、心配でどうしていいかわからないんです)

B 《Doctor》 : I know well. This is my first surgery, too.
(お気持ちは分かります。僕も初めてなんです)

上級レベル

レベル3

中学生

□ Hijack (ハイジャック) ☆《Friend》(友達)

A 《Friend 1》 : Oh I'm so sad! (めちゃ悲しい)

B 《Friend 2》 : Why? (どないしたん?)

A 《F1》 : I was arrested at the airport this morning! (今朝、空港で逮捕されてん)

B 《F2》 : What happened? (なんでよ?)

A 《F1》 : I just called my friend's name! (友達の名前呼んだけやねん)

B 《F2》 : What did you say? (どない言うたん?)

A 《F1》 : Hi! Jack! (ハイ! ジャック)



3

楽しみながら知る、世界の中のニッポン

異文化トーク（桂かい枝&桂福龍）

映像

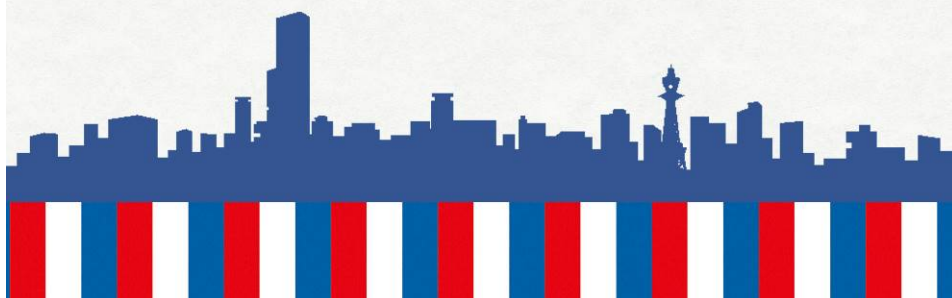
かい枝（日本人）と福龍（カナダ人）がスライドを使いながら、日本だけの独特な慣習や海外との違いなどをお話します。



異なる立場から見た日本の姿。違う視点だからこそ見えてくる海外との違いなどを、2人のトークでおもしろおかしくお伝えします。



そして本公演に続く



タイムスケジュール

舞台準備	10:00～12:00
客入れ(入場)	13:15～13:30
ワークショップ	13:30～14:20
片付け	14:20～16:30

※会場の構造により、片付け終了が遅くなる可能性があります。
※同日にワークショップ、本公演を開催する場合の日程について、
本公演内タイムスケジュール項をご参照ください。

派遣者数

出演者:2名 [主指導者1名、補助者1名]
スタッフ:2名
合計:4名

学校における事前指導

事前学習の実施をお願いいたします。

公演当日のワークショップにて「英語落語コンテスト」を実施いたします。「英語落語コンテスト」では、各クラス、2人1組ずつの代表ペアに英語で「小噺」を発表していただきます。その為の準備として、事前学習として、当日までに授業などで小噺(日本語と英語)の練習(レッスン)を行ってください。

小噺は例題の中からお選びいただきます(可能であれば、小噺の創作をお願いいたします)。最終的に当日出演をするクラス代表のペアをお決めいただきます。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社 影向舎
公演団体名	「笑てっ亭」上方落語と英語落語

演目

笑てっ亭 本公演
【時間】70分

プログラム

ここは大阪、繁華街の客席『笑てっ亭』
大いに笑っててください
👍 = 意図（知っていただきたい内容）と工夫

まずは落語の解説から。落語について知ってみよう

1 落語の解説

1-1 落語について

ワークショップで聞いた落語を思い出しながら、落語について、ざっとおさらい。
落語家は一人で座布団に座り、色々な登場人物を演じ分け、扇子と手ぬぐいを色々な物に見立てながら落語を演じます。このような芸能は世界でも類をみません。

👍 児童・生徒さんは我々大人が思う以上に落語についての知識がゼロ（0）の状態からスタートします。そこで「鑑賞」→「解説」の順で行うことで「楽しかった、けれど??」→「なるほど（知る）」となるように構成しています。そして後述の解説へと、段階を踏みながらより深く掘り下げて行きます。



1-2 上方落語について

上方落語と江戸落語の違いを比較しながら、上方落語の特徴を解説致します。

「時そば」という有名な噺は、上方の「時うどん」が原型なのです。

< 上方落語 >

辻咄（大道芸・野外）から始まる
おもしろい滑稽噺が多い
商人が多く登場する
【見台・膝隠し】使う
【噺に下座】多く入る（ハメモノ）



< 江戸落語 >

座敷噺（お座敷・屋内）芸から始まる
じっくりと聞かせる人情噺が多い
武士と職人が多く登場
【見台・膝隠し】使わない
【噺に下座】ほとんど入らない

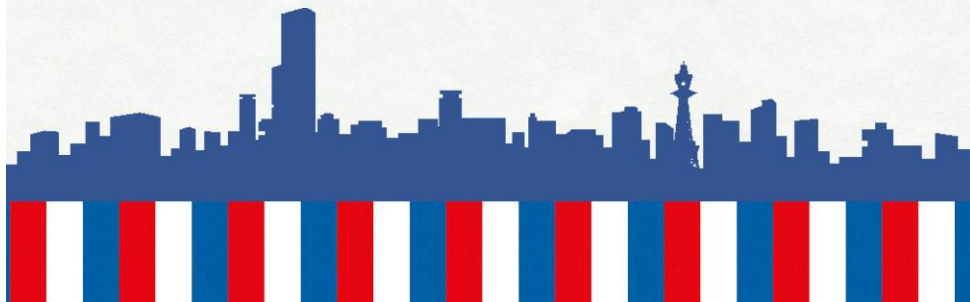
👍 生まれも育ちも違う上方落語と江戸落語。性格の違う兄弟のようなこの二つを比較することで、より鮮明に上方落語の特徴が浮き出てきます。

上方落語って、
元々は大道芸から
はじまったんだね



『御入部伽羅女』巻之五 湯漬翫水 著

上方落語家さんが
使う、拍子木や
机（見台）は、
その名残なんだね



1-3 落語の演じ方と小道具について

落語は無い物を有ると見立て、お客様と落語家が一緒になって創造の力を借り、物語を描き出す芸能です。
ここでは、落語の演出方法について実演をしながら解説します。

○一人でいろいろな登場人物を演じ分ける

落語家は上下（右左）を振っているいろいろな登場人物を一人で演じ分けます。
しゃべり方（セリフ）によってその登場人物がどんな人なのかを表し、
目線や動きで本当は無い物を創り出したりします。小噺を演じ、
その様をご覧ください。

○扇子と手ぬぐい

扇子と手ぬぐいをいろいろな物に見立てます。
《扇子を箸に見立て、うどんを食べる》
《手ぬぐいを手帳に、扇子を筆に見立て、手紙を書く》
《手ぬぐいを丸めて焼き芋に見立てて食べる》
などの仕草の実演など。

○見台と膝隠し

上方落語は小拍子でカチャカチャと見台を叩き、お客様の目線を引きながら演じます。見台と膝隠しは大道芸であった名残で上方落語特有のもので、
いまでは場面転換や時間の経過で叩いたりするなど、演出としても多く用いられます。その使い方を実演解説します。

👍 落語は一人でしかも正座という制約された状態で演じますが、これは優れた演出方法があつてはじめて成立することを忘れてはいけません。お客様と一緒に創り出していく、いわば落語家は物語の船頭のような役目といってもよいかもしれません。最も重要な演出方法を知ることによって創造がし易くなり、落語をより楽しめるようになります。

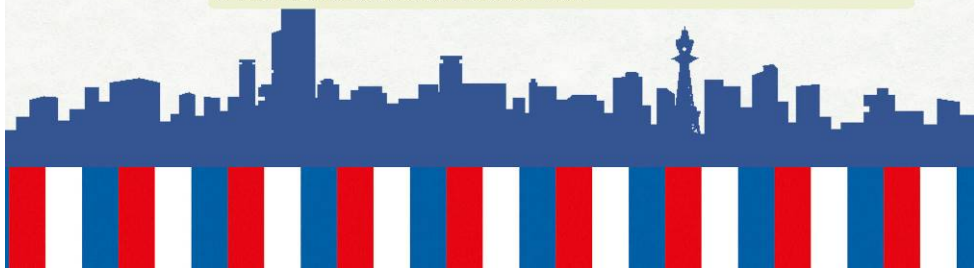
英語で笑おう！

2 英語落語 桂福龍 など 『寿限無』

有名な落語の噺「寿限無」を、
カナダ出身の噺家・桂福龍などの
ネイティブスピーカーである、
噺家が英語で演じます。
習った英語はどこに出てくるかな？



👍 ネイティブスピーカーの話す英語で実際に笑う＝「英語が理解できた」経験は、子供たちに大きな成功体験となるはずですよ。



噺に合わせ、イラストを投影。耳と目で『英語』を楽しむ！

3

英語落語 桂かい枝 『動物園』

映像

トリは上方落語界の雄、桂かい枝の英語落語をお楽しみ。



いよいよ『笑てっ亭』の席亭である桂かい枝の登場。
英語落語に合わせたイメージイラストが理解を助けます。

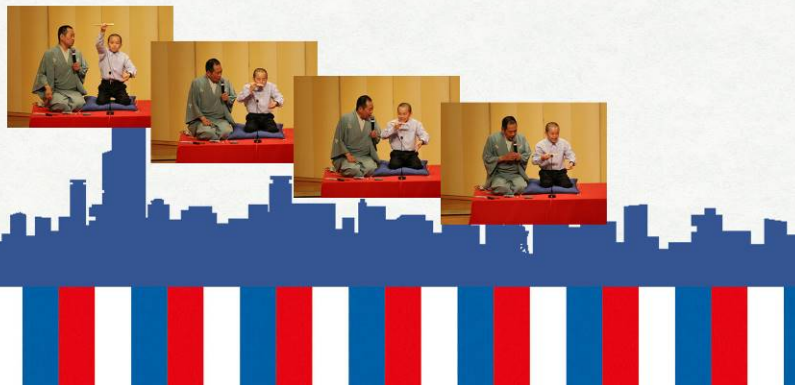
思ったよりも難しい！？ふんねで楽しく落語に挑戦

4

上方落語チャレンジ <体験コーナー>

うどんを食べるなどの「仕草」体験。上下を振って「小噺」体験。
華やかな上方落語を肌で感じてください。

簡単そうに見えて、演ってみると結構難しい落語。体験をとおして「凄い！」と
感じてもらえれば。



派遣者数

出演者:2名 [落語家 2名]

スタッフ:2名

合計:4名

タイムスケジュール

【標準】

舞台準備	9:00～12:00
客入れ(入場)	13:15～13:30
本公演	13:30～14:40
片付け	14:40～16:30

【同日でのワークショップ、本公演実施の場合】

舞台準備	7:30～10:45
客入れ(入場)	10:45～11:00
ワークショップ	11:00～11:50
昼食・休憩	11:50～13:15
客入れ(入場)	13:15～13:30
本公演	13:30～14:40
片付け	14:40～16:30

※会場の構造により、片付け終了が遅くなる可能性があります。

実施校への協力依頼人員

なし

演目解説



【監修】桂かい枝（落語家）※2017年度 文化庁文化交流使

公演に込めた思い



落語を好きになるきっかけになれば

落 語は一人で扇子と手ぬぐいだけを使い、色々な登場人物を演じる、日本が世界に誇る伝統芸能です。落語の笑いの中には風情があり、人情があり、「日本人に生まれてよかった」と思える瞬間が数多くあります。せっかく日本人で生まれて来たのですから、ぜひ児童・生徒さんにこの素晴らしい芸能を知って、好きになってほしい。このプログラムがそのきっかけになればと思うのです。



上方落語は笑いのルーツ

辻 咄（大道芸）から始まった上方落語と、座敷咄から始まった江戸落語。落語には二つの流れが存在します。とりわけ上方落語は雑踏の中、人目を惹き、目の前の人を笑わせる、値打ちを認めてもらって銭をとる。そのために面白おかしい滑稽噺が主流となり、おのずと演出も派手になったわけです。「笑いの本場は？」と問われれば誰しも「関西」と答えるでしょう。笑いの精神は脈々と受け継がれ、上方落語は遅く今に生きています。



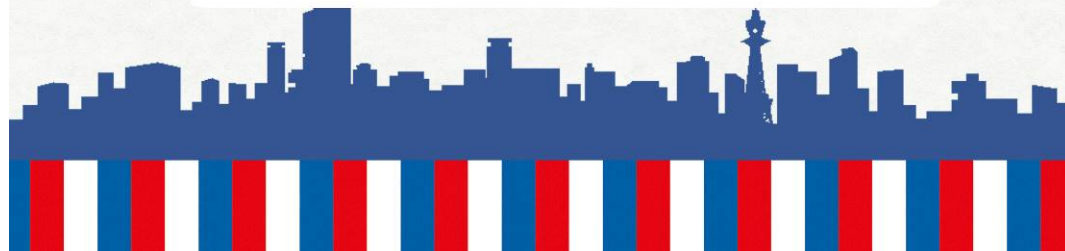
英語落語とは・・・

世 界中の人たちに「落語という凄い芸能を知らしめたい」「落語で笑わせたい」、そのような思いで上方落語家である桂かい枝は英語落語を始めました。海外だけではなく国内でも演じてみると「斬新すぎる！面白い！」「メリハリがあって初めて聞いた落語でもこっちの方が分かり易い！」など思われ反響を呼び、学校の芸術鑑賞会としての需要が今、非常に増えています。



なぜ今、英語落語なのか

2 020年、日本では小学校でも英語教育が本格的に始動されます。この英語落語は近い将来、英語学習の導入部として最適かと考え、「英語落語でより身近に英語を感じてもらえれば・・・」そんな思いを込めてプログラムに英語落語を組み込んでいます。言語が異なる人へ何かを伝えること、相手の主張を受け取ること―「英語を学ぶ」、ということは、人と人とのコミュニケーションを学ぶ手段として有効です。外国人とのコミュニケーションにおいて、感情表現を適切に表すことはとても大切なことですが、日本人はそれが苦手だと言われています。落語という芸は、演者が噺を進めるにあたり、様々なキャラクターを演じる必要があります。演じるというのは、台詞に感情をのせること＝感情を表すことです。当企画において、小ばなしを考え、発表することは感情表現を表す練習になります。また、英語落語を鑑賞し、英語で落語を聞き、笑う事ができた時、英語を理解できたという実感を得て、自信に繋がることでしょう。



○ 『笑てっ亭』 監修・出演

桂かい枝 プロフィール



1994年 上方落語の五代目桂文枝に入門。早くから古典落語だけでなく、新作落語・英語落語にも挑戦、落語への多角的な目線と独自の解釈を加える高座は爆笑必至。芸風は上方らしく陽気で賑やか。上方落語の次代を担う騎手として期待されている。

2005年若手落語家の登竜門、「NHK新人演芸大賞」落語部門で大賞、評価を全国区とする。

また、落語の世界だけにとどまることなく、狂言や文楽との共演経験も多く、社会人向けの講座やユニットを組んで子供対象の体験イベントも行うなど様々な古典芸能の普及に日々精力的に活動している。

英語落語の活動は2020年8月現在、27カ国108都市300公演。2007年文化庁文化交流使としてアメリカを半年間巡業、33都市90公演。2020年現在、小中高の英語教科書で、英語落語が取り上げられる。また絵本、CDブックなどの出版もある。

【掲載教科書】

小学校6年生	英語	「Here We go!」	(光村図書)
中学校2年生	英語	「NEW HORIZON」	(東京書籍)
中学校2年生	英語	「ONE WORLD」	(教育出版)
高校1年生	英語	コミュニケーション「ELEMENT」	(啓林館)
高校2年生	英語	コミュニケーション『Revised POLESTAR English Communication II』	(数研出版)

他主な受賞は

2001年「大阪府舞台芸術奨励新人制度」奨励新人に指定。2002年「大阪文化祭賞」奨励賞。2003年「第40回なにわ芸術祭」落語部門優秀新人賞、大阪府知事賞、大阪市長賞。「第58回文化庁芸術祭」演芸部門新人賞。「咲くやこの花賞」。2007年「第5回東西若手落語家コンペティション」優勝。2007年「第1回繁昌亭大賞」爆笑賞。2010年「第5回繁昌亭大賞」創作賞。2016年「第11回繁昌亭大賞」奨励賞。2018年「第13回繁昌亭大賞」大賞。

兵庫県尼崎市出身。出囃子は「三枚弾き」。定紋は「結び柏」。上方落語協会会員。香港理工大学特別講師。名古屋大学非常勤講師。大阪樟蔭女子大学客員教授。

○ 出演 (カナダ出身作家・ネイティブスピーカー)

桂福龍 プロフィール



カナダのウィニペグ市出身。

日本文化に興味を持ち、2001年に来日する。英語を教えながら、日本語や文化を学ぶかわら、カナダでのマジックやバルーンアート、コメディパフォーマンス経験を活かし、パーティーやイベントなどにも出演していた。

落語に興味を持ち始めた2013年頃、英語落語と出会う。日本の伝統と英語の融合に魅了され、自ら落語の台本を翻訳し稽古を始めた。そのわずか数ヶ月後には寄席で英語落語を披露。日本語での落語も挑戦したいと考え、2016年10月に桂福園治一門に入門。同年11月には正式に桂福園治の11番目の弟子となり、桂福龍の名前をもらう。師匠について修行を行いながら、関西を拠点に東京や沖縄、与論島など日本各地での寄席に呼ばれ出演している。また落語の魅力を世界に発信したいという想いのもと、フィリピンのANA寄席、ラスベガスやサンフランシスコでの繁盛亭、ハワイのアロハ寄席に出演し、国内外で活躍している。

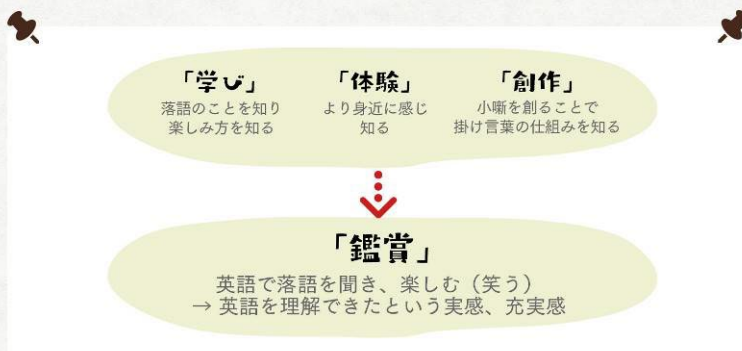
福園治一門のもとで経験を重ね、現在も手話落語を含め着々とネタを増やしている。特技は自分の着物と羽織を縫うこと。

工夫と特徴

Point
1

ワークショップから本公演の流れの中で基礎
となる「落語（上方落語）」を学び、
その上で「英語落語」を鑑賞。

ワークショップでは、ただ単に学ぶだけでなく、楽しみながら
「落語」について知ることができる工夫をしました。



児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

<ワークショップ>

英語落語コンテストにて、各クラスの代表ペアが、2人1組で小噺の発表をしていただきます。

<本公演>

体験コーナーで生徒さんによる落語家の仕草、小噺の体験。

<事前>

WSでの小噺の発表の為、2人1組での小噺の実演の練習。(また可能であれば、小噺の創作。)

児童生徒とのふれあい

過去の実績ノウハウを生かして、様々な工夫を凝らしています。

様々な角度から上方落語を体験……

「見る・聴く」に加えて「体験」をしていただく為、以下の様な要素を盛り込んでいます。

・落語の仕草の体験

児童・生徒さんの代表の方に、うどんを食べるなどの落語の「仕草」や、左を見て右を見て登場人物を演じ分けながら落語の「小噺」を体験していただきます。実際にやってみると思ったよりも難しく感じる、華やかな上方落語の雰囲気を感じていただきます。

・英語落語コンテストで小噺を演じてみる

事前学習を経て、公演日までに練習をしてもらった「小噺」を、各クラス、2人1組ずつの代表ペアに英語で発表していただきます。人前でお話をする事で自信をつけていただき、そして表現力の向上を図ります。コンテストを通し落語のイロハ、そして英語を学びます。

